2026 年 10 月 22 日
東日本旅客鉄道株式会社
（一社）富士河口湖町観光連盟

富士河口湖町で「湖上の観光タクシー（仮称）」実証実験を実施します！

〇ＪＲ東日本では、一般社団法人富士河口湖町観光連盟と連携し、富士河口湖紅葉まつり期間中に「湖上の観光タクシー（仮称）」の実証実験を実施します。
〇河口湖では、小型船舶による周遊観光が行われていますが、船着場間を移動する手段としては利用されてきませんでした。そこで、ＪＲ東日本が地域の皆さまと連携し、船で湖上を結ぶ新たな移動手段の有効性を検証します。
〇Web アプリを活用した乗船受付・案内の仕組みを導入することで、観光客の移動利便性向上を目指します。

１　実証実験実施の背景

富士河口湖町は、富士山と河口湖を有する国内有数の観光地であり、国内外から多くの観光客が訪れています。一方で、富士河口湖紅葉まつり期間をはじめとした観光シーズンには、道路渋滞やバス等の混雑が発生しており、観光客の移動利便性向上が課題となっています。こうした地域の課題に対し、本実証実験では河口湖の水面空間を活用した観光地における移動手段の可能性を検証します。

２　実証実験の概要

⑴ 実 施 時 期

2026 年 11 月 14 日（土）から 11 月 22 日（日）(予定)

各日 10：00～15：00

※実施時期は変更となる場合があります

※期間中毎日実施予定ですが、天候や湖面等の状況により、各運航事業者の判断で運航を見合わせる場合があります。

⑵ 実 施 エ リ ア

山梨県富士河口湖町 河口湖周辺

⑶ 実 証 内 容

乗船受付と配船(船の呼び出し)機能を有する Web アプリを導入します。

①観光地内における移動利便性向上効果の検証

②河口湖周辺における交通混雑緩和への有効性の検証

③Web アプリを活用した乗船受付・案内機能の操作性および実用性の検証

④船着場間輸送の利用需要と事業者間の連携

関係箇所等と引き続き連携し、実証実験に向けて安全管理体制や案内方法、Web アプリの準備を進めます。
実証実験終了後は利用実績やアンケート結果等を分析し、他のシーズンを含めた継続運用および本格導入の可能性を検討します。

乗船時のイメージ

提供：富士河口湖町観光連盟

1　ご利用手順

【STEP 1：船着場で Web アプリ起動】
船着場の看板にある二次元コードをスマートフォンで読み取りアプリに移動します。乗船場所・目的地の船着場・船の種類・乗船人数を選択します。

▼

【STEP 2：その場で船を呼び出し（配船）】
各項目選択後「呼び出す」をタップすると、船へ配船指示が行われ、アプリに「到着時刻の目安」が表示されます。

▼

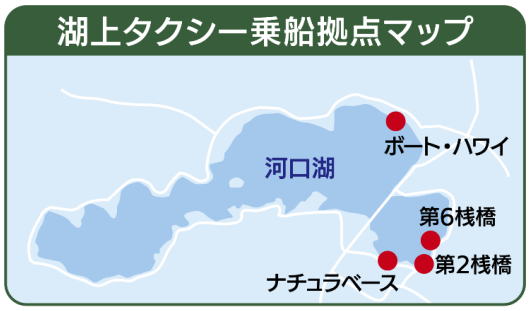
【STEP 3：乗船・現地精算】
船が到着後、画面を乗務員に提示します。
所定の運賃を運航事業者に直接お支払いのうえ、乗船します。
※料金は各運航事業者が定めます。

Web アプリ画面

選択可能な船（一部）

船着場・運航艇数・運航ルート

乗船拠点（4 箇所・計 5 艇・各約 5 名乗り ）
① ボートハウス・ハワイ（1 艇）
② 第 6 桟橋　船津地区（1 艇）
③ 第 2 桟橋　船津地区（2 艇）
④ ナチュラベース（1 艇）
※実際の乗降位置は現地の案内看板をご確認ください。



2　ご利用にあたっての注意事項

- 本サービスは、現地で船を呼び出して利用する「呼び出し型」のサービスです。
- 事前予約には対応していません。
- 混雑状況や運航状況により、配船までにお時間をいただく場合や、配船できない場合があります。
- 強風、降雨などの悪天候時は、安全確保のため予告なく配船受付を中断・中止する場合があります。
- 実証内容等は予告なく変更となる場合があります。
- 実施時期は変更となる場合があります。最新の情報は、現地の掲示等でご案内します。
- 写真・イラストはイメージです。